

2012年春闘 雇用の確保、賃金の底上げで、内需中心の経済、震災復興を

くらし・雇用を守るニュース

No. 4・2012/2/14

発行：宮城県春闘共闘／宮城県労連 Tel:022-211-7002 fax:022-211-7004
〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋 1-5-13

mygroren@bz03.plala.or.jp

雇を増やし賃上げで景気回復を

「2・10中央行動」に

全国からのべ7000人が参加

全労連・国民春闘共闘委員会は2月10日、農民、商工業者、建設職人などの諸団体と共同で、国民のいのち・暮らしを守る中央行動を開催しました。行動には、全国からのべ7000人が参加し、野田内閣が消費税増税・社会保障大改悪、TPP参加へと暴走するなか、国民の連帯の力で悪政をストップさせようと、議員要請や省庁交渉、省庁前行動など終日行動を繰り広げました。正午から日比谷野外音楽堂で開催された総決起集会には、2500人が参加し全労連の大黒作治議長が主催者を代表してあいさつをしました。大黒議長は、「消費税増税・TPP参加反対、原発ゼロをめざすたたかいをやりぬき、2012春闘を大きく発展させましょう」と呼びかけました。

リレートークでは、県労連の小玉常幹が発言し被災地宮城の雇用状況や、ソニーやコロナの青年労働者のたたかいの現状を報告し、被災地の雇用を守るために全力で奮闘すると、決意表明しました。日本経団連の包囲行動では、「非正規社員も同じ人間。もう黙ってはいない」「大企業の内部留保は、身を粉にして働いてきた私たちの血であり肉だ」と、ソニー労組の小高副委員長が熱く心に響くうったえをしました。



「2・16原発集会」にむけ 各組織奮闘中！

「2・16原発集会」の開催まで残り数日となりました。宮城一般では、100人の動員を目指し、あと少しと参加の呼びかけに奮闘しています。また、年金者組合も在仙支部を中心に参加組織を強化しています。各組織の参加者動員よろしくお祈いします。

